

揚工舎 (6576)

「ヨウコーフォレスト西馬込」が事業開始、2019/3 通期は増益見通し

TOKYO PRO Market | ヘルスケア施設 | 業績フォロー

フィリップ証券株式会社

BLOOMBERG 6576:JP | REUTERS 6576.T

- 2018/3 通期は、売上高が前期比 7.3%増の 16.11 億円、営業利益が同 10.9%増の 8,037 万円、経常利益が同 8.2%増の 6,443 万円、当期利益が同 31.8%減の 4,796 万円となった。
- 「ヨウコーフォレスト西馬込」の事業開始や不採算事業所の撤退などによる赤字圧縮の効果も寄与し経常増益。一方、前期に計上した固定資産売却益の反動により最終減益。
- 2019/3 通期の会社計画は、売上高が同 3.2%増の 16.63 億円、営業利益が同 11.3%増の 8,900 万円、経常利益が同 14.8%増の 7,300 万円、当期利益は同 7.0%増の 5,100 万円。

What is the news?

2018/3通期は、売上高が前期比7.3%増の16.11億円、営業利益が同10.9%増の8,037万円、経常利益が同8.2%増の6,443万円、当期利益が同31.8%減の4,796万円。2017/7に大田区の有料老人ホーム「ピアホーム東雪谷」の営業権を取得し、「ヨウコーフォレスト西馬込」として事業を開始。不採算事業所の撤退による赤字圧縮の効果も寄与し経常増益となった。一方、純利益は前期に計上した「ヨウコーキャッスル巣鴨」の土地建物の売却に伴う固定資産売却益3,781万円の反動により減益。

サービス別セグメントごとの業績は以下の通り。施設内での食事、入浴、排泄などの介護や機能訓練、レクリエーションなどのサービスである「デイサービス」は、売上高が前期比0.2%減の5.10億円、セグメント利益が同3.7%増の1.20億円。入居者に対しケアプランに基づいて、食事、入浴、排泄などの介護、機能訓練、医療ケア、レクリエーションなどの生活サービスである「有料老人ホーム」は、売上高が同6.9%増の9.03億円、セグメント利益が同30.8%減の6,812万円。訪問介護、居宅介護支援（ケアプラン作成）、福祉用具貸与・販売、住宅改修などのサービスである「在宅サービス」は、売上高が同42.4%増の1.83億円、セグメント利益が同95.5%増の7,104万円。介護における心得や技術を教える学校を提供する「教育」は、売上高が同17.0%増の1,812万円、セグメント利益が▲642万円と前年同期の▲2,017万円から赤字幅が縮小した。

How do we view this?

同社はサービスの質的向上のため、正規職員採用を基本とする人材確保や各種研修によるスキルアップ・モラルアップ、能力評価に応じた若手職員の抜擢によるモチベーションアップなどに取り組む方針。また、稼働率を利用者・入居者の満足度のバロメーターとしており、各事業所・各施設の稼働率・入居率の向上に注力する。2019/3通期の会社計画は、売上高が同3.2%増の16.63億円、営業利益が同11.3%増の8,900万円、経常利益が同14.8%増の7,300万円、当期利益は同7.0%増の5,100万円。

業績推移

事業年度	2016/3	2017/3	2018/3	2019/3F
売上高(千円)	1,228,762	1,501,843	1,611,948	1,663,000
経常利益(千円)	-12,840	59,528	64,431	73,000
当期純利益(千円)	-36,454	70,289	47,963	51,000
EPS(円)	-52.08	100.41	68.52	73.29
PER(倍)	-38.40	19.92	29.19	27.29
BPS(円)	147.21	250.04	320.53	-
PBR(倍)	13.59	8.00	6.24	-
配当(円)	0.00	0.00	0.00	-
配当利回り(%)	0.00	0.00	0.00	-

(※)2018/2/17付で普通株式1株につき1,000株の株式分割を実施したが、2016/3期の期首に当該株式分割が行われたと仮定してEPS、BPS、1株あたり配当を算定している。(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券)

配当予想(円) - (会社予想)
株価(円) 640 2018/9/5(基準値)

会社概要

2003年に豊島区で設立。首都圏を中心に、「感動空間」の創造をテーマに、介護保険法に基づくサービスであるデイサービス事業、有料老人ホーム事業、在宅サービス事業並びに介護人材を養成する教育事業を展開する。2018/4/24にTOKYO PRO Marketに上場を果たした。

デイサービス事業では、「リハビリほっとステーションヨウコー」のブランド名のもと、都内に11事業所のデイサービスを展開。有料老人ホーム事業では、首都圏において6施設を展開し、同社独自の考えである「生活リハビリ」(歩く、椅子から立つなど日常生活における動きの中で、身体を使う際のポイントを指導し、機能回復につなげていくという考え)や、提携病院との協力体制によって、入居者へのケアサービスを提供する。在宅サービス事業では、都内1カ所のケアステーションにおいて、訪問介護サービス、居宅介護支援サービスのほか、福祉用具貸与・販売、住宅改修等を提供する。教育事業は、介護サービス人材養成および同社の人材確保を目的に、介護における心得や技術を教える講座を提供する。介護福祉士実務者研修や介護職員初任者研修のほか、福祉用具専門相談員資格取得コースなどもある。

企業データ



主要株主 (2018/6/29) (%)

1.伊藤進	91.27
2.塚本登志江	8.71
3.株式会社ライズ	0.01

(出所:会社公表資料をもとにフィリップ証券作成)

アナリスト

増淵 透吾

togo.masubuchi@phillip.co.jp
+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp
+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: フィリップ証券 リサーチ部 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹
公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員補 増淵 透吾

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

＜日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則(平14.1.25)」に基づく告知事項＞

1. 本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。
2. 当社は、東京証券取引所の定める「特定上場有価証券に関する上場規程の特例」(以下「特例」)第102条の規定に基づき、発行会社の担当J-Adviserに就任する旨の契約を締結いたしております。また、当社は、「特例」第135条に定める流動性プロバイダーであり、発行会社株式の円滑な流通の確保に努めるほか、流動性プロバイダーとしての義務を負っております。